

【湯沢市院内地区：院内地域づくり協議会】

～ 地域がワクワクドキドキするために ～

にぎわい
づくり

地域資
源活用

伝統
継承

<地区の概要>

秋田県の内陸部の最南端に位置し、大小合わせて19町内で構成されている。地区内には、「岩井堂洞窟（先住民住居跡）」、「院内番所跡」や「院内銀山跡」など数々の史跡があるほか、一級河川雄物川の源流部に位置し、水清く、緑豊かな環境にあり、産業遺跡や自然環境に恵まれた地域となっている。

一方で、令和4年4月1日現在の人口は1,336人で、高齢化率は51.1%と半数以上が高齢者で、人口減少や少子高齢化が進んでおり、高齢者世帯を中心に、安心して暮らし続けられる地域づくりが必要となっている。

<地区の取組>

院内地域づくり協議会は、2005年に地区内の19町内会長や各種団体の代表によって組織されており、環境資源保全部会・歴史と魅力創造部会・人的交流促進部会の3部会に分かれ、各種地域づくり活動に取り組んでいる。

また、地区内には、「NPOおがちふるさと学校」、「いんない未来塾」、「小沢えぼし会」など地域の活性化に向けて活動する団体が複数あり、こうした団体とも連携・協力して活動することにより事業を拡大してきている。



【花壇整備・環境美化事業】



【院内ふるさと味わい便発送作業】



【ふるさとカレンダー制作写真審査】

<今後の課題>

○若い世代を巻き込み、組織体制を強化していく必要がある。

○一定の人口減少が続いたとしても、地域住民が暮らし続けられるような仕組みを検討する必要がある。

【院内地域づくり協議会の体制とこれまでの取組】

＜院内地域づくり協議会組織図と院内地区内の活動団体＞

院内地域づくり協議会

環境資源保全部会

歴史と魅力創造部会

人的交流促進部会

連携

＜地区内の活動団体＞

- ・ 小沢えぼし会
小沢町内の若手有志で組織
- ・ NP0おがちふるさと学校
地域内にある産物を活用した取組などに注力
- ・ いんない未来塾
地域内外の20代から40代までの若い世代が中心で活動

S63年
ジャンボクリスマスツリーづくり開始
(小沢えぼし会)



H17年
院内地域づくり協議会設立

H17年
第一次まちづくり計画策定

H20年
第二次まちづくり計画策定

R元年
咲良フェスタ開催
(いんない未来塾)



H30年
第三次まちづくり計画策定

H29年
院内ふるさと味わい便販売事業開始

H20年
ふるさと・カレンダー制作事業開始